

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



2月23日(金)に「第1回つぶさの会」と銘打って、基本50代~60代の「若者」に集まっていたいただき、津房地区のことや公民館のことについて意見を出し合う会を開きました。

河野洋一市議会議員や岡喜久夫まち協事務局に話の題材をいただきました。また、市職の岡博之さんは、児童数の今後の推移を調べて来てくださり、話の材料を提供してくれました。

参加した皆さんが自由意見や思いを出し合うことができたと思います。津房地区や集落の人口減少や高齢化は避けられませんが、「つぶさ」を盛り上げていけたらいいなと思います。

また、2回目…と続けていきたいと思えます。また、意見として、女性の方々の会も開いてほしいという声もありました。

「お茶」や「食べ物」は持ち寄りです。次回乞うご期待!

昨年四月から津房地区公民館で社会教育指導員として週に三日間勤務するようになりました。この一年間、本当にたくさんの方々のご協力をいただきました。「ありがとうございました」。

おかげさまで、餓首(くび)にならず引き続き来年度も仕事をさせていただくことになりました。大坪一郎館長ともども、よくお願いします。(井福)



来年度の「茶飲みの市」

昨年の7月に公民館フリーマーケットとして「茶飲みの市」を始めました。2回目11月、そして3回目を当月に行いました。3回目には、安心院高校から

2名の生徒さんがボランティアとして自主的に参加してくれていろいろと手伝ってくれました。また、3回目の今回、地域の方からのバザー用品を募集したところ、多くの方々からたくさんの物品を提供いただきました。「たくさんの方に集まって欲しいから」と自らピラをつくって手配りして下さった方もいらっしゃいました。本当に感謝・感謝です。

さて、次回は7月14日(日)、11月24日(日)を予定しています。安心院高校の年間行事計画の中にも「茶飲みの市」を入れ、農産物等の提供にも協力をいただけることになりました。



御礼



昨年の十二月の公民館便りで、公民館に対してご寄付(香典返し)をいただいた旨お伝えさせていただきました。それ以降、新しい年度を迎える今日まで、左記のご家庭より香典返しをいただきました。皆様に御礼申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。

・榎本 伊賀 和也様

(ご尊父 泰己様ご逝去)

・尾立 安部 惠津男様

(ご母堂 美代海様ご逝去)

・五郎丸 藤井 正子様

(御令兄 元紀様ご逝去)

・五郎丸 佐藤 洋一様

(ご母堂 輝子様ご逝去)

謹んで哀悼の意を表すとともに、ご遺族の皆様には幸多きことを願います。

↑六郎丸在住の永田信様が公民館の包丁一五本を無償で研いでくださいました。それもわずか二〇分ぐらいの時間でした。感謝いたします。



大菊づくりにチャレンジしてみませんか？

安心院町の「ふれあい文化祭」に尾立の田口憲司さんが自宅で作られた大菊を展示されています。また、当公民館や津房小にも毎秋持つてきてくださっています。

公民館に来られる方から、「作ってみたい」という声がありましたので、チャレンジヤーを募集します。

苗は、田口さんにご提供いただき、必要な植木鉢や支柱、輪台などは、安心院中学校より拝借させていただきます。

かつて安心院町内に三中学校があった時代どの中学校でも菊を栽培して、学校文化祭のころ「菊花展」を開いていました。ちょうどそのころ、指導員（私）も町内に勤務してまして、少し生徒にも指導した経験があります。思い出しながらのチャレンジになります。一緒に挑戦しませんか？

ご希望の方がいらっしゃいましたら、津房公民館 48-2001

指導員 井福まで

なお、勤務日が火・水・金です。

※詳しくは、改めて広報いたします。

3月15日（金）に県北の社会教育委員の方々の研修会で津房地区公民館の活動を報告してもらいました。そのとき、（もう津房地区にはありませんが）婦人会の取り組みを宇佐市地域婦人団体連合会の小野みどりさんという方が発表されていました。内容は、「食品ロスと生ゴミ3切り運動」でした。「3切り」とは「食べきり」「使い切り」「水切り」ということでした。発表の中で、私が興味を持ったのは、私がちょうど家

にあるコンポストを整理して、使い始めたこともあり、左にあるような「婦人会だより」の記事でした。

山の落ち葉を集めて、腐葉土も作っていますが、自分で育てた野菜なども「使い切ってやろう」と思い使い始めました。

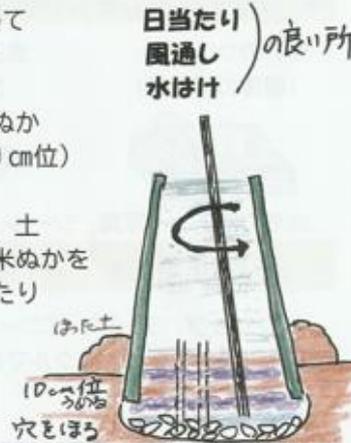
皆さんはコンポストを利用していますか？

コンポスト

◎ 入れてよいもの
野菜くず、残菜
卵の殻、茶殻、枯葉

* 入れては
いけないもの
腐ったゴミ、柑橘類
玉ねぎの皮、タバコ
生の肉、魚、

- ① 穴を掘り 10 cm位埋めて
周りに土をかぶせる
- ② 底に枯葉や枯草、米ぬか
などを入れる (5~10 cm位)
- ③ 生ごみ、土、生ごみ、土
と重ね、時々石灰や米ぬかを入
れ、棒でかき混ぜたり突いて穴をあける



ネットの記事に「コキアは雑草！」とあったのですが、まさにその通りで、公民館に植えてある「まち協」からいただいたパンジー・ビオラの周りにコキアの芽がウジャウジャと出てきています。

ある程度大きくなったら、育苗ポットで育て、公民館に植えたり、皆さんにお譲りしたりいたしますので、「乞うご期待！」また、別名：ホウキグサの名の通り、「ほうきづくり」もやろうかと思っています。

小学校に寄贈して、小学生と一緒に作ってもいいかなと、迷惑なことも考えています。